

# 哲學研究

第四十七卷 第五册

第五百四十七號

昭和五十八年五月二十日發行

彙報

トマスにおけるレスとエッセンチア について……………	山田
——アルベルティとヒルテプラント—— 繪画空間について(承前・完)……………	新田博衛
ルターとオツカム主義の伝統……………	金子晴勇
物自体と『純粹理性批判』の方法……………	福谷茂
〔調査(一)〕エルヴィン・ベルツの遺産	佐々木丞平
〔調査(二)〕道教の旅から……………	小南一郎

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けな  
い 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入  
會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓（會誌四冊分を  
含む）を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行  
事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

池田	藤田	伊藤	上田	梶山	木曾	酒井	佐々木	清水	清水	辻村	中村	西谷	長谷	服部	日原	平野	藤澤	宝月	松丸	御牧	水垣	本吉	森口	山田	吉美	岡田	吉健	
秀三	邦武	閑一	能修	好平	井丞	代善	御公	久裕	裕	作郎	一郎	裕	正裕	正裕	正裕	利正	俊令	誠夫	誠夫	克壽	克壽	涉己	治良	治良	美都	田都	健二	郎

會  
告

京都哲學會公開講演會予告

日時 十一月五日(土)午後一時半  
會場 京都大學文學部第七講義室

一、中国古典における注釈の思想 …… 京都大學助教授 池田秀三

一、神秘主義と形而上学 …… 京都大學教授 上田閑照  
—— 經驗と自覚の問題をめぐって ——

※ 右終了後楽友會館にて懇談晚餐會を開きます(会費約四千円)。

※ 所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京大文學部内京都哲學會までお申出下さい。

昭和五十八年五月

京 都 哲 學 會

(講演順)

〔編者附記〕 本論文の上篇は、本誌第五百三十二号（第四十六卷第二册、昭和五十一年十月）に、中篇は、同第五百三十五号（第四十六卷第五册、昭和五十三年六月）に、それぞれ掲載された。

前	号	目	次
		古代キリスト教における「好奇心」の問題	水垣 渉
		論理における原理的なもの	
		——アリストテレスの所論をめぐって——	大出 晁
		力学における決定論と意識の自由について	
		——情報構造としての意識——	品川 嘉也
		デカルトにおける永遠真理創造説について	平松 希伊子
		新刊紹介 中久郎『デュルケームの社会学論』	中島 道男

として仮象を否定する。  
 (4) A 384, A 395, A 673=B 701, A 692=B 720, A 582=B 610, A 696 Anm.=B 724 Anm., A 619=B 647. 等々参照。

〔付記 本稿の内容の一部は、昭和五十六年十一月二十一日、日本カント協会の第六回学会において口頭発表されたものである。〕  
 (筆者 ふくたに・しげる 京都大学文学部〔西洋近世哲学史〕助手)

告 諭 文 論 号 次

フレーゲにおける論理哲学の形成 ——意味論の視点から——	野本 和幸
緯書鄭氏学研究叙説	池田 秀三
探究と倫理 ——ベースにおけるプラグマティズムと 規範学の理論——	伊藤 邦武
〔討議①〕「純粹実践理性の批判」とは 何を意味しうるか	森口 美都男
〔討議②〕品川嘉也氏の最近論文を読んで 山崎教授の疑問に答う	山崎 和夫 品川 嘉也

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌四冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います  
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京 都 大 學 文 學 部 内

昭和五十八年 五月十五日 印刷  
昭和五十八年 五月二十日 發行

編輯兼 京 都 哲 學 會  
發行人 京 都 哲 學 會  
編輯代表 酒 井 修  
編輯担当 伊 藤 邦 武

賣 捌 所 創 文 社

株 式 會 社  
久 保 井 理 津 男

東京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地  
振 替 口 座 東 京 二 一 九 二 四 七 二  
電 話 東 京 三 六 三 一 七 一 〇 (代 表 室)  
印 刷 所 曉 印 刷 株 式 會 社  
東 京 都 文 京 區 関 口 一 一 二 四 一 八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい  
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、送料六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十八年五月二十五日發行

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLVII

May

1983

No. 5

---

---

Articles

*On <res> and <essentia> in St. Thomas Aquinas* ..... Akira Yamada

*Über den Bildraum* ..... Hiroe Nitta  
—— *Alberti und Hildebrandt* ——

*Luther and the Ockhamistic tradition* ..... Haruo Kaneko

*Kants Methode in der „Kritik der reinen Vernunft“  
und das Problem der Dinge an sich*  
..... Shigeru Fukutani

Essays

*The Erwin Bälz heritage* ..... Johei Sasaki

*A travel report on Taoism today* ..... Ichiro Kominami

Notes

Published by  
**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**  
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)  
Kyoto University  
Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-5 特價 1,500圓